

2012年度 コンクリート診断士講習会および試験のご案内

公益社団法人 日本コンクリート工学会

2012年度の第12回コンクリート診断士講習会および試験を、次のとおり実施致しますのでご案内致します。

1. コンクリート診断士制度の背景

社会資本としてコンクリートは、すでに100億 m³程度と膨大な量がストックされています。これらのコンクリートは年月を経ると、いろいろな要因で劣化がはじまりますが、適切な処置を講ずることにより構造物としての寿命を延ばすことが可能です。コンクリートを診断し、補修・補強を行うことによって、先人が築いた貴重な財産を永く供用していくことは、これからの我々に残された務めといえます。21世紀は、新設よりも維持の時代となります。そのための技術者を早急に養成することが社会のニーズになっています。本学会は、永年にわたってコンクリートの診断・維持管理に関する研究活動を行っており、多くの技術的な蓄積を持っています。これらを活用することによって、診断・維持管理に関する幅広い知識を持った技術者を養成し社会に貢献しようとするのがコンクリート診断士制度の背景です。2001年度より実施していますコンクリート診断士試験の累計合格者数は9,907名となっています。

2. コンクリート診断士の位置付け

コンクリート診断士は、本学会が実施する講習会を受講し、さらに試験によって相応のレベルのコンクリート診断・維持管理の知識・技術を保有していると認定され、さらに登録した方に与えられる名称です。法に定められたものではありませんので、この資格がなければ診断・維持管理の業務ができないということではありませんが、公的機関でも認められ、一部では、工事発注の要件にあげられるほど、コンクリート診断士に対する期待は高まっています。

これまでのコンクリート関連の資格が、新設構造物に使用するコンクリートの設計・製造・施工に主として関わってきたのに対して、コンクリート診断士は蓄積されている膨大な既存構造物コンクリートを対象とするところが大きく違います。

コンクリート診断士は、その活動によって社会的な信頼を得ることになれば、多くの分野で重用され、活躍の場が広がるものと期待されます。

コンクリート診断士は構造物のコンクリートを対象として、その劣化の程度を診断し、維持管理の提案も行います。構造物全体としての耐力・耐震性能等の診断は、対象物が建築物、道路・鉄道橋、トンネル等多岐にわたり、設計法・解析法もそれぞれ独自のものがあるので、一技術者だけで全てに対応することは困難です。したがって、コンクリート診断士には、計画、調査・測定を行うために必要な構造に関する基本的な知識までが求められ、構造物としての性能の診断は、コンクリート診断士が調査したデータをもとにそれぞれの分野の構造設計の専門家が行うこととなります。

3. 受験資格

コンクリート診断士試験を受験できるのは、2012年5月1日において下記の表に該当する方です。

コンクリート診断士は、当然ながらコンクリートに関する知識・経験を十分持っていることが前提となります。

また、診断についての知識・技術の理解を深めるため、受験者には診断士講習会を受けて頂くこととしています。

コンクリート診断士受験資格

資格又は学歴	登録または課程	実務経験	講習
1. コンクリート主任技士 2. コンクリート技士 3. 一級建築士 4. 技術士(建設部門) 5. 技術士(農業部門—農業土木)	いずれかを登録していること	-	1) 未受講者は受講が必須 講習会修了証は2年間有効 2) 2011年度コンクリート診断士講習会修了者は2012年度の受講は免除 3) 2010年度以前のコンクリート診断士講習会受講者は再度受講が必要
6. 1級土木施工管理技士 または、 1級建築施工管理技士	監理技術者資格者証を有すること		
7. 大学 8. 高等専門学校(専攻科)	1) 土木工学・農業土木工学・建築学に関する学科の課程を修めた卒業生 2) 前号の学科以外でコンクリートに関する科目を履修した卒業生	コンクリートに関して、4年以上*	
9. 短期大学 10. 高等専門学校	1) 土木工学・農業土木工学・建築学に関する学科の課程を修めた卒業生 2) 前号の学科以外でコンクリートに関する科目を履修した卒業生	コンクリートに関して、6年以上	
11. 高等学校	1) 土木工学・農業土木工学・建築学に関する学科の課程を修めた卒業生 2) 前号の学科以外でコンクリートに関する科目を履修した卒業生	コンクリートに関して、8年以上	

※大学院でコンクリートに関する研究を行った人は、その期間を実務経験とみなしますが、この場合は、大学院の修了証明書が必要です。

4. 2012年度コンクリート診断士講習会

コンクリート診断士試験の受験には診断士講習会受講が必須です。ただし、2011年度診断士講習会受講者は2012年度の受講は免除されます。2010年度以前の受講者は再度受講が必要です。

なお、受験希望者以外は受講出来ません。

1) 科目および時間割

時間割 日程	9:50 ~ 10:00	10:00 ~ 11:40	11:40 ~ 12:40	12:40 ~ 14:20	休憩 15分	14:35 ~ 16:15
1日目	挨拶	基礎編： 変状の種類、劣化の機構	昼食 休憩	基礎編： 測定方法、評価・判定、補修		
2日目	-	基礎編： 補修・補強の方法		応用編： 診断実例、基準類の変遷		

注) 科目および開始・終了時間は都合により変更する場合があります。

2) 開催地・期日・定員・会場

開催地	期 日	定員	会 場
札幌	4月12日(木)～13日(金)	500	札幌ガーデンパレス 札幌市中央区北一条西6丁目(道庁南側) TEL 011-261-5311
仙台	4月12日(木)～13日(金)	400	仙台国際センター 仙台市青葉区青葉山(無番地) TEL 022-265-2211
東京-1	3月31日(土)～1日(日)	500	都市センター会館・コスモスホール 東京都千代田区平河町2-4-1 TEL 03-3265-8211
東京-2	4月2日(月)～3日(火)	500	都市センター会館・コスモスホール 東京都千代田区平河町2-4-1 TEL 03-3265-8211
東京-3	4月14日(土)～15日(日)	500	都市センター会館・コスモスホール 東京都千代田区平河町2-4-1 TEL 03-3265-8211
東京-4	4月26日(木)～27日(金)	500	都市センター会館・コスモスホール 東京都千代田区平河町2-4-1 TEL 03-3265-8211
名古屋	4月18日(水)～19日(木)	550	名古屋市公会堂 名古屋市昭和区鶴舞1-1-3 TEL 052-731-7191
大阪-1	4月9日(月)～10日(火)	500	大阪商工会議所・国際会議ホール 大阪市中央区本町橋2-8 TEL 06-6944-6268
大阪-2	4月19日(木)～20日(金)	500	大阪商工会議所・国際会議ホール 大阪市中央区本町橋2-8 TEL 06-6944-6268
広島	4月9日(月)～10日(火)	350	メルパルク広島 広島市中区基町6-36 TEL 082-222-8510
高松	4月4日(水)～5日(木)	200	サンメッセ香川 高松市林町2217-1 TEL 087-869-3333
福岡	4月17日(火)～18日(水)	800	福岡国際会議場 福岡市博多区石城町2-1 TEL 092-262-4111

※沖縄での開催は隔年となります。2012年度は開催いたしません。(次回は2013年度を予定)

3) 受講料

受講料：21,000円(テキスト代、消費税含む)

テキスト：「コンクリート診断技術'12」

4) 受講申込み方法

- ・末尾の受講申込書に必要事項を記入の上、受講料払込受領証の写し(コピー)を貼付し、下記診断士講習会係宛お送り下さい。受講票およびテキストは、3月初旬、同封してお送り致します。

〒102-0083 東京都千代田区麴町1-7 相互半蔵門ビル 12階

公益社団法人日本コンクリート工学会 診断士係

- ・受講料は郵便局備付の払込取扱票にて下記郵便振替口座へ払い込みください。

口座番号：00160-5-604564

加入者名：公益社団法人日本コンクリート工学会

※通信欄に「診断士講習会・第一希望受講地」と「受講者氏名・電話番号」を必ずご記入ください。(複数まとめての申込みは不可。払込手数料は申込者をご負担願います。)

5) 受講申込み期間

2012年1月6日(金)～1月23日(月)(消印有効)

会場の定員になり次第締切ります。

講習会は受験希望者を対象としますので、受験資格を自己確認した上で受講申込みをして下さい。

なお、コンクリート診断士試験に関する願書提出の際は、あらためて資格審査がありますのでご承知おき下さい。受験資格7～11の場合、実務経歴の証明に、勤務先の押印(公印)および勤務先の事業主または所属長の記名が必要です。

5. コンクリート診断士試験(概要)

試験実施については2012年3月頃詳細発表の予定です。

- 1) 試験日: 2012年7月22日(日)
- 2) 試験地: 札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、沖縄
- 3) 試験方法: 筆記試験
- 4) 試験科目: コンクリート診断士試験
- 5) 願書: 郵送または講習会場にて販売 1,000円(消費税含む)
2012年3月31日(土)～5月25日(金)
- 6) 願書受付: 2012年4月23日(月)～5月25日(金)
- 7) 受験料: 10,500円(消費税含む)
- 8) 登録の証明には登録証書(技術士・農業部門—農業土木は登録証明書)が必要です。
1級土木施工管理技士、1級建築施工管理技士は監理技術者資格者証のコピーが必要です。

※監理技術者講習修了証ではありません。

※登録有効期限が2012年5月1日以降となっているかご確認下さい。

6. 試験方法・選考の基準

1) 試験方法

コンクリート診断士試験(3時間30分)

①四肢択一問題 ②記述式問題

2) 選考の基準

コンクリート診断士に必要なとされる主な知識・技術などは下記の通りです。

- ・変状の種類と原因
- ・劣化の機構
- ・調査手法
- ・劣化予測、評価および判定基準
- ・対策の種類、補修・補強工法
- ・建築物あるいは土木構造物の診断の考え方・調査
- ・技術・基準類の変遷

選考にあたってはこれらに関する一般的知識と理解力等についての筆記試験(四肢択一問題並びに記述式問題)が行われます。

ただし、試験日からさかのぼって1年以内に制定および改正された各種規準類(JIS、コンクリート標準示方書、JASS5等)中の変更事項については、出題の対象としません。

なお、コンクリート診断士試験の四肢択一式および同記述式のそれぞれに足切り点があります。

7. コンクリート診断士登録

コンクリート診断士試験の合格者には、申請により登録すると「コンクリート診断士」の称号が付与されます（登録しないとコンクリート診断士の称号は使用できません）。

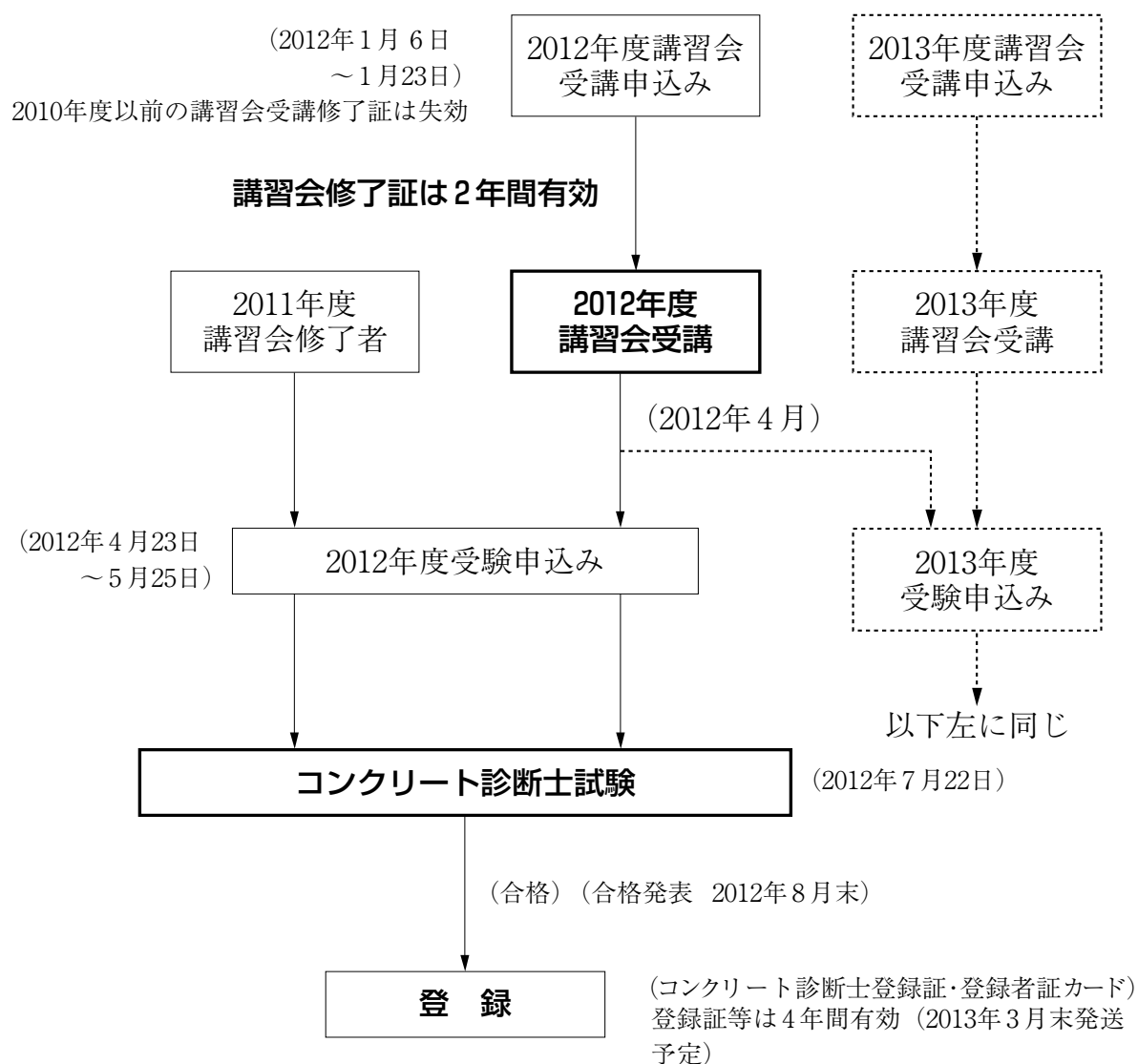
登録者にはコンクリート診断士登録証ならびにコンクリート診断士登録者証カード（写真入り）を発行致します。

- 1) 登録受付期間：2012年9月3日(月)～9月28日(金)
- 2) 登録料：6,500円(消費税含む)
- 3) 登録証・登録者証カード発行：2013年3月末(登録証等は4月1日より有効)

8. コンクリート診断士研修

診断技術の維持・向上のためには、最新の技術あるいは診断事例等の研修が必要であり、4年ごとの登録更新には研修受講が必須条件となります。

9. コンクリート診断士の資格取得の流れ



2012年度コンクリート診断士講習会受講申込書

公益社団法人日本コンクリート工学会

フリガナ				生年月日 19 年 月 日生	希望受講地 ^{※2}
氏名				年齢 歳 性別 男・女	1
勤務先				業種 ^{※1}	2
勤務先所在地	〒 -			TEL	FAX
現住所	〒 -			TEL	携帯電話
受験資格1～6 ^{※3}	資格名	合格番号	登録番号(交付番号)	登録有効期限	
	1. コンクリート主任技士				
	2. コンクリート技士				
	3. 一級建築士				
	4. 技術士(建設部門)				
	5. 技術士(農業部門—農業土木)				
	6. 1級土木施工管理技士 1級建築施工管理技士				
受験資格7～11 ^{※4}	学歴・実務経験	学校名	学部・学科名	実務経験	コンクリートに関する科目
	7. 大学			年	
	8. 高等専門学校(専攻科)				
	9. 短期大学				
	10. 高等専門学校				
	11. 高等学校				
2011年度コンクリート ^{※3} 技士試験に合格し登録手続き中の方で受験資格にする場合は、合格番号を括弧内に記入して下さい。 [合格番号: <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> 登録料振込日: 月 日] (本学会にて確認)					

※1 別表 業種コードの番号を記入

※2 P.3 4.2) 開催地・期日・定員・会場一覧表を参照し第1希望から第3希望まで希望順に記入

※3 P.2 3. 受験資格を参照し、資格名1～6の番号に○し、合格番号・登録番号(交付番号)・登録有効期限を記入(複数記入可)
(1級土木施工管理技士、1級建築施工管理技士については、「監理技術者資格者証」の番号を記入)

※4 P.2 3. 受験資格を参照し、資格名7～11の番号に○し、学校・学部・学科名と実務経験年数を記入
土木工学・農業土木工学・建築学以外の方はコンクリートに関する主な履修科目を記入

別表 業種コード

100	官庁
101	独立行政法人・事業団・公庫
102	地方自治体・地方公社
110	大学・学校
120	設計事務所
121	コンサルタント
122	エンジニアリング
131	セメント
132	混和材料
133	骨材
140	生コンクリート
150	コンクリート製品
160	建設
161	調査診断
162	試験
170	電力・ガス
171	鉄道
172	道路
181	建設機械
190	その他

払込受領証(コピー)添付

※通信欄に「診断士講習会・第一希望の受講地」および

「受講者氏名・電話番号」をご記入下さい。

<お願い> 受講票およびテキストの送付先をご記入下さい。

送付先が勤務先の場合、会社名を忘れずにご記入下さい。

送付先 〒 -	
(ビル・マンション名など)	
(送付先が勤務先の場合、会社名・部署名など)	
氏名	TEL (携帯)
様	

※受講申込期間:2012年1月6日(金)～1月23日(月)消印有効